

琉球大学学術リポジトリ

High Risk Human Papillomavirus Genotype Distribution and its Relevance to Cytology in LaoPDR

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学 公開日: 2019-05-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 仲地, 里織 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/44346


(別紙様式第3号)

論 文 要 旨

論 文 題 目

High Risk Human Papillomavirus Genotype Distribution and its Relevance to
Cytology in Lao PDR

(ラオスにおけるハイリスクヒトパピローマウイルスの遺伝子型分布と細胞診との
関連性)

氏名 仲地里織 

子宮頸癌はヒトパピローマウイルス (HPV) との関係が明らかであり、高度異形成や子宮頸癌に進行する遺伝子型は high-risk HPV(HR-HPV) として認識されている。近年、子宮頸部擦過検体から HR-HPV 感染の有無を調べて子宮頸部病変のリスクを予測することが可能となってきた。ラオスでは子宮頸癌は女性の癌死の第3位だが、早期発見のための子宮頸部細胞診や HPV 検査はほとんど行われていない。当教室ではラオスにおける子宮頸部細胞診と HR-HPV 検査について、ラオス人医師と共同研究を行ってきた。本研究では、ラオス北部の山岳地方であるウドムサイ県において自己採取法による子宮頸部検体採取を行い、細胞診判定および HR-HPV 検査を行った。また以前に報告したデータと併せてラオスにおける HR-HPV 遺伝子型と細胞形態との関連性を調べ、さらに開発途上国での自己採取型細胞診スクリーニングに関して考察した。ウドムサイ県において健常女性ボランティアを300人募集し、参加者は加

藤	式	自	己	採	取	器	具	を	用	い	て	検	体	を	採	取	し	た	.
検	体	は	液	状	化	検	体	細	胞	診	法	で	ス	ラ	イ	ド	ガ	ラ	ス
に	塗	布	し	パ	パ	ニ	コ	ロ	ウ	染	色	を	行	っ	た	.	ベ	セ	ス
ダ	判	定	に	基	づ	き	ラ	オ	ス	お	よ	び	日	本	人	の	細	胞	検
査	士	と	細	胞	診	専	門	医	が	判	定	し	,	不	良	検	体	を	除
い	た	297	検	体	を	研	究	対	象	と	し	た	.	細	胞	診	の	残	検
体	よ	り	hybrid	capture	2	法	(HC2)	お	よ	び	PCR	法	で	HR-HPV					
を	検	出	し	た	.	HC2	で	は	HPV16, 18, 31, 33, 35, 39, 45, 51, 52, 56, 58, 59, 68										
の	13	種	類	を	一	括	し	て	検	出	し	,	PCR	で	は	HR-HPV	の		
中	で	も	よ	り	高	度	異	形	成	に	関	連	す	る	と	報	告	さ	れ
て	い	る	HPV16, 18, 31, 33, 35, 52, 58																
を	そ	れ	ぞ	れ	検	出	し	て	遺										
伝	子	型	を	特	定	し	た	.	ま	た	全	て	の	被	験	者	に	ア	ン
ケ	ー	ト	調	査	を	行	い	,	本	研	究	で	用	い	た	自	己	採	取
器	具	に	対	す	る	意	見	を	調	べ	た	.	統	計	学	的	手	法	に
は	chi-square	test	を	使	用	し	$P<0.05$	を	統	計	学	的	に	有	意	と			
判	断	し	た	.	細	胞	診	判	定	の	結	果	,	ベ	セ	ス	ダ	判	定
の	NILM, ASC-US, LSIL, HSIL																		
は	そ	れ	ぞ	れ	90.2%, 6.7%, 2.4%, 0.7%														
に																			
認	め	ら	れ	,	NILM	を	除	く	異	常	細	胞	診	検	体	の	陽	性	率
は	9.8%																		
で	あ	っ	た	.	HR-HPV	の	陽	性	率	を	全	検	体	,	正				
常	細	胞	診	検	体	,	異	常	細	胞	診	検	体	で	分	け	る	と	,

HC2	で	は	各	々	22.9%	,	18.7%	,	62.1%	で	あ	り	,	PCR	で	は	各	々		
9.1%	,	3.4%	,	62.	%	で	あ	っ	た	.	い	ず	れ	の	検	出	法	で	も	異
常	細	胞	診	検	体	で	は	正	常	検	体	と	比	し	て	HR-HPV	の			
陽	性	率	が	有	意	に	高	か	っ	た	(共	に	$P<0.0001$)	.	HR-HPV	の			
遺	伝	子	型	分	布	に	つ	い	て	は	ウ	ド	ム	サ	イ	で	は	HPV58		
が	最	多	で	,	HPV16,	HPV33	が	続	い	た	.	ラ	オ	ス	の	HR-HPV				
遺	伝	子	型	に	つ	い	て	過	去	に	報	告	さ	れ	た	唯	一	の	文	
献	で	は	,	HPV58	を	含	む	遺	伝	子	群	が	最	多	で	あ	っ	た	.	
我	々	が	以	前	に	報	告	し	た	ピ	エ	ン	チ	ャ	ン	で	は	HPV16		
が	最	多	で	あ	っ	た	が	,	今	回	の	結	果	を	併	せ	て	細	胞	
形	態	を	照	合	す	る	と	,	細	胞	異	型	が	増	す	に	連	れ	て	
HR-HPV	の	陽	性	率	が	増	し	,	中	で	も	HPV16	と	HVP58	の					
占	め	る	割	合	が	70%	以	上	を	占	め	て	い	た	.					
	ラ	オ	ス	で	は	,	HPV16	と	同	様	に	HPV58	の	感	染	が	異	形		
成	病	変	の	形	成	に	関	与	し	て	い	る	こ	と	が	示	唆	さ	れ	
た	.	ま	た	,	検	体	採	取	法	に	つ	い	て	は	ウ	ド	ム	サ	イ	
で	73.4%	,	ピ	エ	ン	チ	ャ	ン	で	80.5%	の	被	験	者	が	婦	人	科		
医	に	よ	る	採	取	よ	り	も	自	己	採	取	法	に	好	意	的	で	あ	
り	,	今	後	ラ	オ	ス	で	の	子	宮	頸	癌	予	防	対	策	の	一	つ	
と	し	て	考	慮	さ	れ	得	る	も	の	と	考	え	ら	れ	た	.			